

SH-M02-EVA20

クイックスタートガイド '15.12

詳しい操作説明は、「取扱説明書(PDFファイル)」をご覧ください。

はじめに

お買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全上のご注意(必ずお守りください)」を必ずお読みください。
本書は、保証書と共に、いつでも見る事ができる所に必ず保存してください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド(本体付属品)

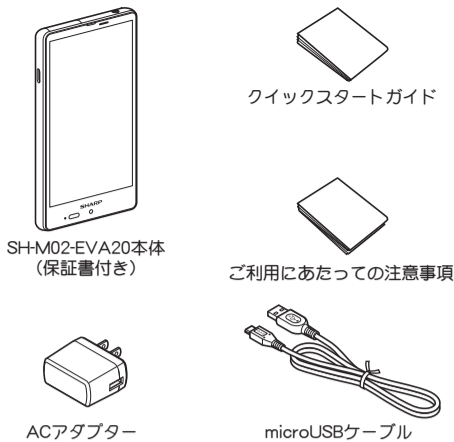
基本的な機能の操作について説明しています。

取扱説明書(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
次のサイトでダウンロード
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm02-eva20/manual/index.html>
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがFeel Homeの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-M02-EVA20」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、携帯電話サービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご利用にならない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音とし聞き取れません。
- 本端末は音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容(電話帳、カレンダー、メモ帳、音声メモ・簡易留守録など)は、定期的にメモを取ったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管していただくようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- お客様の電話番号(自局番号)は、ホーム画面にアプリシートを表示▶【設定】▶【プロフィール】で確認できます。
- 本端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。

- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。
- 紛失に備え、画面のロックを設定し端末のセキュリティを確保してください。
- 万が一紛失した場合は、Gmail™、Google Play™などのGoogle™サービスや、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パスワードなどより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- デザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ディ스플레이は、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。



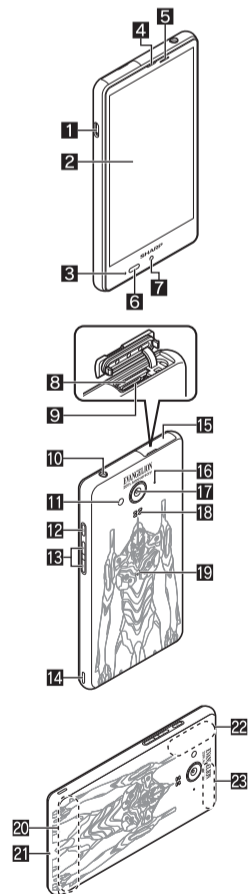
製造元：シャープ株式会社



'15.12(1版)
TINSJB162AFZZ
15M 5.1 TR HK①

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



- 1 外部接続端子
- 2 ディスプレイ/タッチパネル
- 3 着信/充電ランプ
- 4 受話口
- 5 近接センサー/明るさセンサー*1
 - 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
 - 明るさセンサーは、周りの明るさを検出して、バックライトの明るさを調整します。
- 6 赤外線ポート
- 7 インカメラ
- 8 nanoSIMカードスロット
 - nanoSIMカードを取り付けるためのトレイが収納されています。
- 9 microSDカードスロット
- 10 イヤホンマイク端子
- 11 モバイルライト
- 12 (Ⓚ):電源キー
 - 電源を入れる/切るときなどに利用します。
 - ディスプレイの表示/非表示を切り替えます。
- 13 (↑)/(↓):音量UP/DOWNキー
 - 各種機能で音量を調節します。
- 14 ストラップ取り付け口
- 15 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバー
- 16 空気穴
 - 端末内の余分な空気を抜くための穴です。
- 17 アウトカメラ
- 18 スピーカー
 - 着信音や音楽などがここから聞こえます。
 - ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。
- 19 ㇿマーク
 - ICカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- 20 内蔵アンテナ*2
- 21 送話口/マイク
- 22 GPS/Wi-Fi/Bluetooth®アンテナ*2
- 23 内蔵サブアンテナ*2

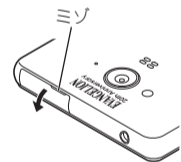
- ※1 センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響をおよぼす場合があります。

nanoSIMカード

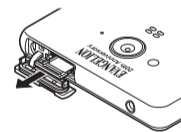
- nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。
- nanoSIMカードの取り付け/取り外しは、電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。

■取り付けかた

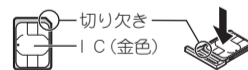
- 1 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを開く
 - ミゾに指先をかけて、開けてください。



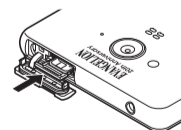
- 2 nanoSIMカードスロットからトレイを取り外す
 - トレイに指先をかけて、ゆっくりとまっすぐに取り外してください。



- 3 nanoSIMカードのIC(金色)面を上に向けて、トレイにセットする

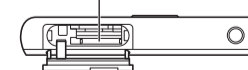


- 4 トレイをnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



- nanoSIMカードスロットは、microSDカードスロットの下にあります。トレイを取り付ける場合、誤ってmicroSDカードスロットに挿入しないようにご注意ください。

nanoSIMカードスロット(ディスプレイ側)

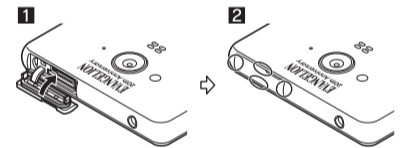


- トレイが傾いた状態や、表裏が逆の状態無理に押し込まないでください。nanoSIMカードスロットやトレイが破損することがあります。



5 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを閉じる

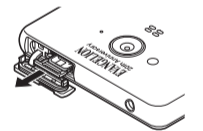
- 端末とnanoSIMカード/microSDカードスロットカバーにすき間が生じないように、矢印の方向に閉じ(1)、O部分をしっかりと押ししてください(2)。



■取り外しかた

- 1 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを開く

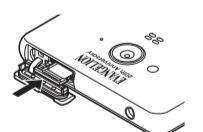
- 2 nanoSIMカードスロットからトレイを取り外す



- 3 トレイからnanoSIMカードを取り外す



- 4 トレイをnanoSIMカードスロットにゆっくりと挿入する



5 nanoSIMカード/microSDカードスロットカバーを閉じる

- nanoSIMカードやトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、IC(金色)に触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、トレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。

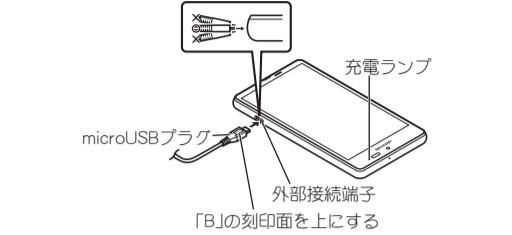
充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

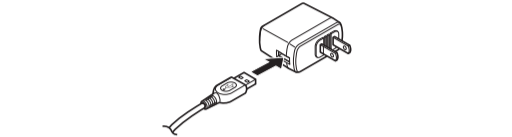
ACアダプターで充電

- 次の操作は付属のACアダプターと、付属のmicroUSBケーブルを使用して説明しています。

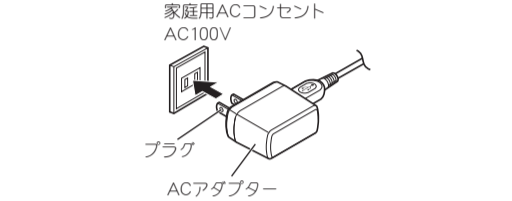
- microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、「B」の刻印面を上にして端末の外部接続端子に水平に差し込む**
 - microUSBプラグの向き（表裏）をよく確かめ、水平に差し込んでください。



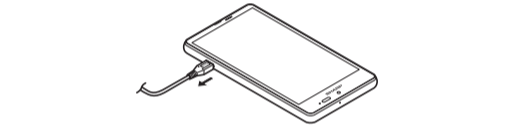
- microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む**



- ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込むと、充電ランプが点灯して、充電が開始する**



- 充電が完了すると、充電ランプが消灯する**
- ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、microUSBケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子から水平に抜く**
- microUSBケーブルのmicroUSBプラグを外部接続端子から水平に抜く**



- 無理に差し込んだり抜いたりすると、外部接続端子やmicroUSBプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

8

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、設定した内容により表示される項目が異なります。
 - 言語の設定
 - Wi-Fiの設定
 - ソフトウェアアップデートの確認
 - タップ&ゴーによるGoogleアカウントの設定
 - Googleアカウントの設定
 - お支払い情報の設定
 - アプリとデータを取得
 - 本端末の所有者情報
 - Googleサービス
 - Google Now™の設定

アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント※を設定します。

- 本端末には、いくつかの通信事業者に対応したアクセスポイントがあらかじめ登録されています。nanoSIMカードを取り付けた状態で電源を入れると、アクセスポイントが自動で設定されます。
 - 機内モードの設定にかかわらず、アクセスポイントの設定を行います。
 - 対応するアクセスポイントが本端末に登録されていない場合は、アクセスポイントを追加で設定してください。以降は電源を入れると設定したアクセスポイントに接続します。

※通信事業者によっては「APN」や「アクセスポイントネーム」とも呼ばれます。

- アクセスポイントを追加で設定**

- ホーム画面にアプリシートを表示**▶**【設定】**▶**【もっと見る】**▶**【モバイルネットワーク】**▶**【アクセスポイント名】**▶**【+**】
- 【名前】**▶**作成するネットワークプロファイルの名前を入力**▶**【OK】**
- 【APN】**▶**アクセスポイント名を入力**▶**【OK】**
- その他、通信事業者によって要求されている項目を入力**▶**【:]**▶**【保存】**

アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

- ホーム画面にアプリシートを表示**▶**【設定】**▶**【もっと見る】**▶**【モバイルネットワーク】**▶**【アクセスポイント名】**
- 【:]**▶**【初期設定にリセット】**

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

microUSBケーブルで充電

端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続すると、端末を充電することができます。

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

- ⓪(⓪) (2秒以上)**
 - はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください(☞P.12「初期設定」)。

■ 電源を切る

- ⓪(⓪) (1秒以上)**▶**【電源を切る】**▶**【OK】**

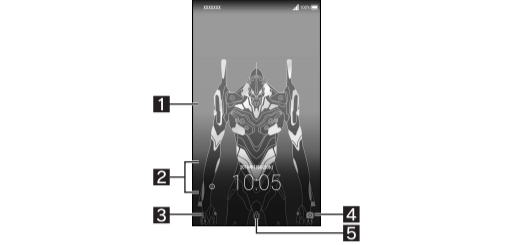
■ 強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に端末の電源を切ることができます。

- ⓪(⓪) (8秒以上)**
 - バイブレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れます。

ウェルカムシートの操作

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはウェルカムシートが表示され、タッチパネルがロックされています。



- 壁紙**
 - ウェルカムシート壁紙を「静止画」に設定している場合、複数の静止画を登録していると、左右フリックすることで壁紙を切り替えることができます。
 - 「ウェルカムシート壁紙」には最大5枚まで静止画を登録できます。
- インフォエリア**
 - 左右にフリックすると、天気、日時などに表示を切り替えます。
 - ロックとセキュリティで「所有者情報」を設定している場合に【⓪】をタッチすると、所有者情報が表示されます。
- ショートカット表示**
 - 上にスライドすると、ショートカットなどが表示されます。
- SHカメラ起動**
 - 上にスライドすると、SHカメラが起動します。
- ロック解除**
 - 上にスライドすると、ロックが解除されます。

基本操作

タッチパネルの操作

ディスプレイ（タッチパネル）を使用するための操作について説明します。

9

Wi-Fiの設定

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- 【Wi-Fi】をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。

- ホーム画面にアプリシートを表示**▶**【設定】**▶**【Wi-Fi】**
- ONにする**
- アクセスポイントを選ぶ**
 - セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
 - アクセスポイントを手動で登録:【:]▶[ネットワーク]を追加▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
 - WPSに対応しているアクセスポイントは簡単登録ができます。ホーム画面にアプリシートを表示▶**【設定】**▶**【Wi-Fi】**▶**【:]**▶**【簡単設定】**▶**【WPSプッシュボタン】**／**【WPS PIN入力】**でアクセスポイントを登録してください。
 - ホーム画面にアプリシートを表示▶**【設定】**▶**【Wi-Fi】**▶**【:]**▶**【簡単設定】**▶**【AOSS】**でもアクセスポイントに接続できます。以降は画面の指示に従って操作してください。

- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード(セキュリティキー)を入力した場合、[インターネット接続不良により無効]または[認証に問題]と表示されます。パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても[インターネット接続不良により無効]と表示されるときは、正しいIPアドレスを取得できていない場合があります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA、WPA2 PSK、802.1xEAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、[📶]が表示され、Wi-Fiではなくモバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに詳細設定項目の[インターネット非接続時も有効]を有効にしてください。

■ 切断

- ホーム画面にアプリシートを表示**▶**【設定】**▶**【Wi-Fi】**
- 接続しているアクセスポイントを選ぶ**▶**【切断】**
 - パスワードを保持したまま切断します。ディスプレイを表示させた場合など、自動で再接続される場合があります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。

■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)／ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っって触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。

■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。

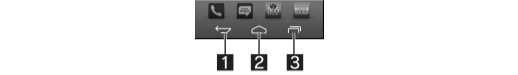
■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。

機能利用中の操作

■ ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。



- 戻るキー／閉じるキー**
 - 1つ前の画面に戻します。
 - キーボードを閉じます。
- ホームキー**
 - ホーム画面を表示します。
- アプリ使用履歴キー**
 - クイックランチャーやアプリ使用履歴を表示します。

■ メニューを呼び出す

[:]／[:]／[:]などのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

■ 縦／横表示

- 端末を傾けたときに画面の表示が切り替わります。
- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます。

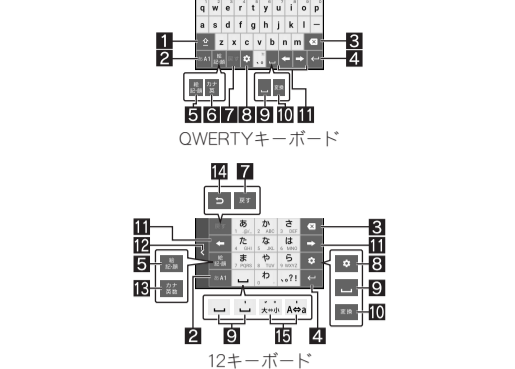
スクリーンショットの撮影

- ⓪(⓪)+⓪(←)を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。
- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。

10

キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。



※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

- シフトキー**
 - 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
- 入力モード切替キー**
- 削除キー**
- エンターキー**
 - 改行します。
 - 入力した文字を確定します。
 - 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
 - 次の入力欄に移動します。
 - ロングタッチすると、キーボードを閉じます。
- 記号キー**
 - 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
 - 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。
- カナ英キー**
 - 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号の変換候補(カナ英字変換候補)を表示します。
 - 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。
- 戻すキー**
- 設定キー**
- スペースキー**
- 変換キー**
- カーソルキー**
 - カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。
- 配置移動**
 - 【<<】／【>>】をタッチするとキーボードや変換候補欄などを左右に移動します。
- カナ英数キー**
 - 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英数字や記号の変換候補(カナ英数変換候補)を表示します。
 - 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。
- 逆トグルキー**
 - 同じキーに割り当てられた文字を通常とは逆の順序で表示します。
- 文字切替キー**
 - 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
 - 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

■ キーボードの切替

例：ひらがな漢字入力モードで縦表示のとき

- 文字入力画面で【📶】▶【入力方式】▶【QWERTYキーボード】／【12キーボード】**
 - 【📶】を上にもスライドしても切り替えることができます。

11